

あんしんセンターについて

川崎市の各区あんしんセンターでは、高齢者や障害のある方が地域で自立した生活を送れるように、福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービス、書類等預かりサービスを提供しています。

あんしんセンターは、各区社会福祉協議会の中にあり、専門員と生活支援員が活動しています。

専門員



困りごとや悩みごとについて相談を受けます。ご本人の希望をもとに適切な支援計画を作り、関係機関と連携しながら本人の生活を支援します。

生活支援員



支援計画に沿って定期的に訪問し、福祉サービスの利用手続きや預貯金の出し入れをサポートします。

★サービス提供の流れと生活支援員の活動について紹介します★

知的障害のあるAさん（60代）は自宅で娘と二人暮らし。普段の買い物などは娘と協力しながら行っていますが、家計全般をうまく管理することが難しかったため、福祉サービス利用援助・日常的金銭管理サービスを利用しています。毎月2回、あんしんセンターのB生活支援員が自宅を訪問して、生活費のお届けや必要な支払いをお手伝いしています。

13:10【事務所】

担当専門員とB生活支援員で支援計画に基づき今日のAさんの支援内容を確認。必要事項をチェックしたら出発です。



13:30【銀行】

B生活支援員がAさんに代わって現金を払い戻します。現金の取扱いには慎重さが求められます。



14:20【Aさん宅】

B生活支援員「先月痛いとおっしゃっていた足の調子はどうですか」
Aさん「だいぶ良くなりました。明日また病院で診てもらいます」
と体調についてのやりとりがありました。



Aさんのご自宅にて出金してきた現金をお渡しします。間違いのないように、お札は1枚ずつ数えて一緒に確認します。通帳から福祉サービスの利用料や公共料金が引き落とされていることを説明、Aさんに確認してもらいました。

生活支援員は本人の生活状況や健康状態などを訪問を通じて確認し、専門員へ報告します

B生活支援員より

訪問を継続していくなかで、ご本人が身体的にも精神的にも元気になっていく様子を見るととてもうれしく感じます。また、金銭管理が苦手な方が「今月はうまく使うことができた」と報告してくれた時には、一緒に喜ぶことができるととてもやりがいを感じます。

15:00【事務所】

今日の支援について記録にまとめ訪問の様子を担当専門員に報告。Aさんの状況を職員間で共有し、次の支援につなげます。

